

2-1

演題	業務効率を上げ利用者の QOL 向上に繋げる
副題	～ iPad を活用し利用者との時間を増やす～

法人名	社会福祉法人 ユーアイ二十一
施設名	太陽の家二番館

発表者名 (職種)	須田 ゆかり 介護職員
共同発表者	宮崎 涼太
共同発表者	
共同発表者	
共同発表者	

都道府県	神奈川県
住所	横須賀市西浦賀 6-1-2
TEL	046-841-2088
FAX	046-841-2083
メールアドレス	jinzai_ikusei@ui21.or.jp
URL	https://www.ui21.or.jp

今回の発表施設 またはサービスの 概要	社会法人太陽の家二番館ショートステイ（10床）完全個室。 食事を利用者様の目の前で盛り付け家庭的な雰囲気です。温かい食事を提供。 山の上にあり海を見渡せる景色の綺麗な施設。
---------------------------	--

研究の目的、PR ポイント

ICT (iPad、荷物チェックアプリ) を導入することにより、業務効率を上げ利用者に関わる時間を増やす。

取り組んだ課題

- ・ ショートステイの業務に入退所時の荷物チェックがあるが、手書きの所持品チェック表で管理している為、ご家族が記入してきた荷物と、持参してきた荷物の照らし合わせに時間がかかる。チェック漏れなどによる忘れ物もなくなる状況がある。
- ・ 忘れ物を減らす。
- ・ 業務効率を上げ利用者様と過ごす時間を増やしたい。
- ・ 施設では iPad を導入したが、一部の職員は操作方法が分からないと敬遠している。

具体的な取り組み

- ・ iPad の操作方法をマンツーマンで指導。
- ・ 荷物チェックアプリの無料版を2か月試しに行ってみる。
- ・ 所持品チェック表の見直し。
- ・ 荷物を写真で管理するにあたってご利用者様の家族に同意を頂く。
- ・ YouTube を利用しレク時間を有意義に。

活動の成果と評価

- ・ 荷物を写真で撮ることになり、一人当たりのチェック時間が3～10分短縮できた。
- ・ 写真で荷物を確認出来る様になり、柄や色、形などすぐわかる。
- ・ ご家族より記入する項目が少なくなり、億劫だった荷物チェックが楽になったと意見を頂戴した。
- ・ ゆとりが出来利用者様と向き合うレク時間が増えた。

今後の課題

写真の撮り忘れ、退所直前に入れようと思っていたもの、杖、コート、歩行器等持たせ忘れがあるため

改善していく。

参考資料など

介護サブリ 荷物チェックアプリ